

事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
				①	定期監査（課かい）		計画	-	42
			実績	42	42	42	36	-	-
②	定期監査（学校、出先、財政援助団体等）		計画	-	24	27	29	24	27
			実績	35	24	22	27	-	-
③			計画	-					
			実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合

監査事務事業の中で、決算審査（一般会計、特別会計、企業会計）、財政健全化判断比率等審査、経営健全化審査（特別会計、企業会計）等については、数値化は不可能。

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
					①	監査講評指摘事項	定期監査の講評時（学校・出先を除く）に改善するよう指摘した事項で、各課の事務改善が進めば指摘数は減少する。なお、H25年度後半期から講評方法を見直した。	件	計画	-
				実績	326	279	234	242	-	-
②				計画	-					
				実績					-	-
③				計画	-					
				実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合

3 (Check) 事務事業の自己評価

着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か（国・県・民間と競合していないか）	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	・公正で合理的かつ能率的な市の行・財政運営を確保するために実施するため。 ・地方自治法等で監査委員が実施するよう定められている事務であるため。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか（成果をこれ以上伸ばすことはできないか）	● 有効である 概ね有効である 有効でない	・違法、不正となるものは見受けられないが、内部事務基準等に反する事務処理が散見される状況となっており、是正を求め、注意を喚起している。 ・財務事務のルールが広範にわたり定められているため、重点事項を絞って監査を実施したり、一巡したところで重点項目を変えていくなど、実施方法をに変化を付けるよう工夫している。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）	● 現行どおりでよい 見直しが必要	・中核市以上の規模の自治体には包括外部監査が義務付けられているが、あくまでも監査委員制度を補完するもので、内部監査が不要となるわけではなく、逆にコストは増加する。 ・施設の所管課が実施する指定管理者へのモニタリングの状況を確認することで、指定管理者の監査を簡素化できないか検討していく。 ・全国の同等規模の自治体の中では下位に属する金額であり、これ以上の削減は難しい。 ・受益者負担には該当しない事務事業である。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を選択)	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
今後の方向性の理由、改革改善の取組等	(今後の方向性の理由、改革改善の取組をもたらそうとする効果など) ・ 民間実施として包括外部監査と個別外部監査がある。これらの外部監査は、定期監査とは別に実施されるもので、外部監査を実施するには、委託料を別途予算措置する必要があり、現時点では外部監査は考えていない。 ・ 平成26年度から財務監査に併せて行政監査を実施することとした。重点項目として、公金、準公金の収納事務及びチェック体制、備品の登録・保管場所・保管方法、市が事務局となる実行委員会等外部団体の事務等を加えたほか、施設など現地に赴き実査を行うようにした。また、平成28年度から工事監査を導入する。		

外部評価の実施		実施年度	
改善進捗状況等	H27進捗状況		
	H27取組内容		

決算審査特別委員会における意見等	特になし (委員からの意見等)
-------------------------	--------------------